

赤穂市 日本遺産展 2023

2つの企画展を同時開催
赤穂市立図書館 1階ギャラリー

2.3[金] ▶ 2.12[日]

2023



企画展 ① みんなでつくる日本遺産写真展

企画展 ② 日本遺産のまちなみを歩く展

会期 令和5年2月3日(金)～2月12日(日)
10:00～18:00、2月6日(月)は休館
金曜日は20時、2月12日(日)は17時まで



主催 赤穂市日本遺産推進協議会 Tel 0791-43-6839 Fax 0791-46-3400

日本遺産とは

2月13日は日本遺産の日



地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が「日本遺産」に認定するとともに、ストーリーを語るうえで不可欠な魅力ある有形・無形の文化財群を地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内外に戦略的に発信することにより、地域の活性化を図ります。

赤穂市の2つの日本遺産



「日本第一」の塩を産したまち 播州赤穂

「日本第一」の塩を産したまち 播州赤穂

兵庫県赤穂市は、江戸時代に入浜塩田の一大生産地として栄えた、瀬戸内海に面したまち。市内各地にはその繁栄を体感できる数々の歴史文化遺産が残されています。赤穂は、いまでも塩の国なのです。



KITAMAE-BUNE

荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～

江戸時代に開かれた西回り航路によって全国の主要港をつなぎ、産物だけでなく文化をも運んだ北前船。赤穂市坂越にはその寄港地として栄えたことを伝える歴史文化遺産が、今も数多く残されています。

赤穂市日本遺産展 2023 では2つの企画展を同時開催！



企画展 ① みんなで作る日本遺産写真展

概要

令和4年8月1日から 11月30日までの間で、赤穂市の2つの日本遺産のストーリーや構成文化財に関連する写真を募集したところ、67作品の応募がありました。

本展では、そのうち、事務局が選定した50作品を展示します。あわせて、来場者による投票を行い、みんなで優秀作品を選定します。みんなが撮影した赤穂の魅力な歴史文化をぜひお楽しみください。

協賛 赤穂市漁業協同組合、赤穂化成株式会社



企画展 ② 日本遺産のまちなみを歩く展

概要

赤穂市の2つの日本遺産にかかわるまちなみに焦点をあて、地域の成り立ち、まちなみの特徴、関連する構成文化財をはじめとする歴史文化遺産などを次のテーマごとに写真・パネル展示等により紹介します。

「日本遺産の構成文化財としてのまちなみ」、「北前船寄港地・赤穂の塩廻船の母港 坂越」、「海に見える坂のまち 御崎」、「潮を煮て生業としたまち 尾崎」、「塩づくりはじまりの地 塩屋」